

No.	発言のポイント	要旨
1	移住者支援の充実を	岡山市は被災地あるいは関東圏の人から、移住したい都市の最上位にランクされている。岡山市は移住・定住支援室を中心に、さまざまな支援を行っているが、さらなる充実を望みたい。特に生活の厳しい母子・父子世帯への手厚い支援が必要だ。それを進めることで岡山市への信頼度が高まり、移住希望者も増えると考え。
2	移住希望者への対応を	岡山市は中心市街地から中山間地域までかなり広い。市民それぞれの目的に合った移住に結び付けられる施策が必要だ。県外からの移住希望者に岡山の地域性に関する情報を提供することや、移住後の起業支援なども求められる。
3	雇用を増やし人口移入を	人口増は雇用機会の問題に尽きる。製造業の振興やコンパクトシティの機能強化を図ることで、結果として岡山市の周辺部から人口を移入する。それを行政全体で取り組むのが効率的でいいのではないかと。
4	大学生の流出防止・雇用対策を	資源の活用法を考える機会を設ける、インターンシップなどで地域貢献の意識づけを図るなど、大学生に対して岡山に住み続けたい気持ちを高める必要がある。理系の人材流出を防ぐために企業誘致や起業奨励といった仕掛けも必要だ。
5	人を呼びこむ仕掛けを	岡山の課題を研究テーマにして、地域内外の人と共同研究をする。その関連で、学会やシンポジウム、文化・スポーツイベントなどを積極的に誘致する。岡山はいろいろなことをやっていて、面白そうだというイメージを作れば、人を呼ぶきっかけになる。
6	中小企業を評価し、新たな価値の創造を	岡山に移住してもらうには働く場が必要だ。その際、岡山ならではの資源に焦点をあてて、そこにどう価値を見出していくかが必要になる。一方で岡山の中小企業をしっかりと評価し、魅力をもっと発信しなければならない。企業自体も多様な連携によって、若い人たちとともに新たな価値の創造に取り組むことが重要だ。
7	医療産業の集積とレベルアップ	臨床を一括管理して、さまざまな医療産業が集積しやすい環境をつくる。その中で、地域医療・福祉のレベルアップを図り、その結果、他地域からの移住者や受診者が増加すればいい。
8	岡山の企業の魅力をアピール	岡山の大学で学んだ学生が岡山を離れるのは、有名企業や大手企業を志望している場合が多い。岡山にも魅力的な企業はあるが、情報が少なく、見つける機会が少ない。学生自身にも、とにかく大手企業という狭い考え方がある。学生に岡山の企業の魅力を丁寧に伝え、岡山で就職することで、親や兄弟も呼び込むようにできないかと思う。
9	経済至上の価値観の見直しを	人口の増減の価値をとらえ直す必要がある。人口が減少することで、ゆとりを持ち豊かに暮らすという余地が生まれ、誰もが幸せに暮らせる社会の実現を目指す。経済的な価値観を至上としない、多様な価値観の考え方に立つことだ。岡山市が先進的にESDに取り組んだのは、明確にその方向を歩みだす宣言と受け止めた。岡山市が「住みやすさ、力強さ、安心・安全」の三つのキーワード・視点を出していることは重要だ。